

香料組成物

発明の内容

“新生児の良い匂い”は癒される。新生児の匂いを科学的に分析し調合、ヒトに癒しの影響を与えることができる香料の作出を発想した。従来技術として化学物質を配合した“赤ちゃんの匂いの香水”が販売されているが“赤ちゃんの匂いのイメージに似せた香水”であり、ヒト脳の情報処理系に影響を与えることは期待できない。

新生児が大人に向かって健全な心地よい感覚を促すフェロモンの匂いを発していることを生物学的・医学的に証明することにより、“新生児のもつ癒し系の匂いの科学的な分析結果に忠実な香料”は従来技術を革新する。

考えられる用途

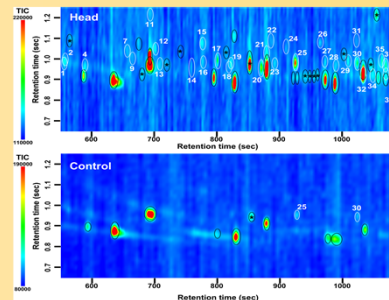
- 食品、化粧品
- 二次的に香料を添加した生活雑貨、衣料、玩具など

本発明の香料組成物は、そのまま、あるいは、各種溶剤で希釈した状態で、さらには、液状基材、ミスト基材、ゲル基材、固体基材、紙、繊維、カプセル等と組み合わせた状態で、化粧品、飲食品、インキ、描画材等に配合することができる。

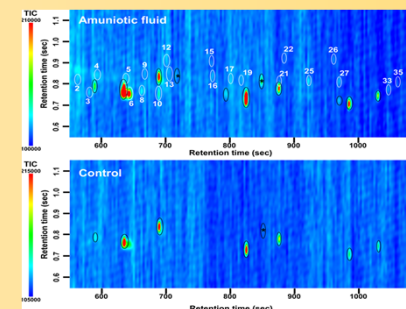
始原的オラリティ研究 においを用いた新生児主体の「共在感・ケア情動発現」の解明 非侵襲、ストレスフリーの匂い採取とGCxGC-MSによる化学分析



頭の匂い



羊水の匂い



生得的な「におい」による
初期コミュニケーション

